

スマトラ沖大地震

- 危機管理(リスクマネジメント) -

院長

2004年12月26日午前8時(日本時間午前10時)頃、インドネシアのスマトラ島沖で、マグニチュード(M)9.0の巨大地震が発生、大津波がスリランカ、インド、タイなどインド洋沿岸諸国を襲いました。被害が明らかになるに連れて、自然の恐ろしさを痛感させられました(日立ソフトが津波被害復旧を支援目的で無償で提供している衛星画像を使わせて頂きました)。ニュースで流れる津波の映像、本当に信じられないような光景です。建物の間を濁流が流れ、家具や自動車まで簡単に流されていました。もっとも大きな被害を受けたスマトラ島北部では、30メートルを超す大津波が押し寄せていたこともわかりました。海岸からかなり遠くまで津波が到達していたことも、明らかになっています。

1月末の犠牲者は、死者と行方不明者を合わせると30万人以上とされています。犠牲者は地元の方々だけでなく、観光地を襲ったこともあり、多くの外国人も含まれていました。日本人の犠牲者も25人を越えています。現在も行方不明の方々もいて、お父さんと弟さんを失い、お母さんが行方不明の遼平君の姿には、涙を誘うものがありました。昔プーケット島に行ったこともあり、家族でダイビングのためピピ島に滞在していたと聞き、同じダイビングをする仲間として余計に身につまされる思いです。一日も早く、お母さんを見つけれられるように祈っています。

復興の様子もニュースで流れていましたが、惨憺たる現実にもまた圧倒されてしまいます。衛生状態も問題で、これから伝染性疾患が流行することが危惧され、感染症によっても多くの被害が出ることも予想されています。そして悲しいことに、子どもの人身売買も横行しているという報道もあります。

これほどの大きな被害になった理由は、もちろん地震と津波の規模でした。M9.0は20世紀の地震の規模としては4番目で、死者行方不明者はもっとも多いとされています。

確かに規模が大きかったのは事実ですが、被害を少なくすることはできなかったのでしょうか。被害が大きくなった理由のひとつには、津波に対する知識が無かったことや警報システムが無かったことも上げられています。

どんな災害等でも同じですが、大事なことは危機管理(リスクマネジメント)です。もともとは政治や経済の用語ですが、天災、戦争などの危機的状況・問題の発生に対処するための事前予測から、未然防止、危機発生時への準備、危機への対応、そして、再発防

止までを含めた一連の活動を総称するものです。しかし、この危機管理は災害や戦争だけのものではありません。身近な子育ての場面でも、危機管理は関係することは沢山あります。小児科医の立場から具体的な例を示しましょう。赤ちゃんがたばこを食べてしまったり、成人の薬を飲んでしまったりすることは時々あります。手を放したら自動車にはねられた、目を離したらいなくなった。病気で様子を見ていたら、重症な病気だった。これらのことは危機管理という意識を持っていれば、防げることでしょう。まず大事なことは、たばこを食べたら、目を離したら、どうなるかということを知ることです。どんな症状に注意が必要なのか、緊急性を要する症状なども含め、病気に対する知識も重要です。特に事故などは、危機を未然に防止することが重要となります。危機発生した時の準備として知識が必要ということは、言うまでもありません。そして危機への対応と再発防止です。危機管理(リスクマネジメント)というと、何となく関係がないものと思っていたかも知れませんが、子育ての中にも、このような考えが必要なことをしっかり認識してください。

最後に、スマトラ沖大地震の被災者の方にお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々の御冥福を心よりお祈りいたします。



バンダアチエ 津波前後の衛星写真
提供「DigitalGlobe日立ソフト」



2月のお知らせ

- ・ 栄養育児相談
毎週水曜日 13:30~
栄養士担当 参加無料
- ・ 開院記念日
2月20日

読者の広場

先月は新年ということもあり、年賀状（挨拶）も多く33通のメールを頂きました。1通目は泉区の千葉さんからです。「あけましておめでとうございます。き虫 ちばみずきの母です。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。5日テレビの前でその時を今か今かとみずきと待ってました。いつもは川村先生の前で必ず泣くみずきも「かわむらしえんしえい、かわむらしえんしえい」とテレビに向かって話していました。（診察のときもそうだといいのですが・・・）テレビに映る先生を見て、こちらまでとっても嬉しくなっていました。改めて、受賞おめでとうございます。これからも悩める母たちのためにご活躍期待しております！」。2通目は宮城野区の武田さんからです。「おめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。2才4ヶ月の有莉佳の母です。仙台放送の先生のインタビュー、見ましたよ！o(^-^o TVに出る事を知らずに見てたので、驚きました。もっと驚いたのは、いつもは聴診器を当てただけ（ひどい時は先生の顔を見ただけ）で泣く娘が、TVを見て嬉しそうに「ちえんちえい」と指を指すのです。余程嬉しいのか、先生が画面に映ってる間中、繰り返してました。子供心に怖いけど（ごめんなさい！）自分の体が楽になる事が分るんですね。感心しました。これからも、親子共々よろしくお願ひします！m(_ _)m」。子どもってそうですよね。目の前では無くくせに、本当は大丈夫なのでしょう。いつか笑って診察受けられるようになるでしょう。続いては秋田に引っ越すことになった青葉区深田さんからです。「深田悠太の母です。今日はどうもありがとうございました。秋田へ引っ越す事、話さなくてはと思いつつ、混んでるからまた今度にしようなどと考えているうちに伸び伸びになってしまいました。なんだかかわむらこどもクリニックとさよならするのが淋しくて言えなかったというのもあったかもしれませんが・・・。（略）悠太の人見知り激しくて、周りから「ママが外に連れ出さないからだ」みたいな事を言われたりした事もあり、悩んだ事もあったのですが、今では病院に行くのが楽しみなようで、「今日は先生にこんにちは！って言うよ」って毎回張り切ってます。でも、実際行ってみたら出来なかったり、「次こそは！」ってがんばってみたり、悠太なりにがんばってるんだなあってすごく感じました。だから、今日は小さな声だったけど、先生に「こんにちは」って言えた時すごくうれしかったです。（略）たまたま家から一番近い小児科という事で行き始めたわけでしたが、行ってみたらこんなにも素晴らしい病院だったなんて私はなんて幸せもんならろうと思いました。今日の夕方からのニュースも拝見させて頂きました。遅ればせながら、受賞おめでとうございます！ほんと川村先生すごいですよね。悠太は、川村先生がテレビに映っている事に大興奮してました！！このテレビを見て、更にかわむらこどもクリニックとのお別れを淋しく感じました。ほんとに私にとって自慢の病院でしたから。秋田へ行きますが、何かあればメールがある！という思いは、私の不安をかなり解消してくれています。（略）またいつか仙台に戻って来た時は、お世話になると思います。お世話にならない事が一番なんでしょうけど、でも、その時はどうぞよろしくお願ひします！！」。転職は仕方ありません。まさか病気のためだけに仙台に残る訳にもいきません。転居しても、いつまでもかかりつけの患者さんです。心配なことがあれば、いつでも遠慮なくメールして下さい。



BCGに関する緊急のお知らせ

以前からお知らせしていましたが、4月1日から結核予防法が改正されます。ツ反が廃止されBCG接種は生後6か月未満の乳児のみが対象となります。

生後3か月以上4歳未満で、まだBCG接種を受けていないお子さんは、3月31日までに必ず受けるようにして下さい。6ヶ月以降の児は自費接種（有料）となります。詳しくは、院内掲示、スタッフで御確認ください。

スマトラ沖地震救援金の案内 と報告

待ち合い室に募金箱を設置致しました。よろしく、ご協力をお願い致します。

・日本ユニセフ協会

郵便振替 口座 00110-5-79500

通信欄にスマトラ沖地震救援と書けば、手数料は無料になります。

ご協力頂きました、義援金は6,268円になりました。皆様の善意に感謝致します。ほんとうに、ご協力ありがとうございます。引き続きご協力をお願いします。

水痘は少し減少しましたが、まだかなり流行中です。特に目立つ感染症はありません。グラフ以外では、嘔吐下痢症（ウイルス性胃腸炎）がかなり流行しています。インフルエンザは中旬から、少しずつ増加傾向です。例年に比較すると小規模です。地域や施設によっては、流行しているところもあります。注意して下さい。

編集後記

去年は本当に大自然の脅威を目の当たりに見ました。災害で、多くの犠牲者もでました。記事のように危機管理が重要です。凶悪な犯罪等も目立ちます。まずは「君子危うきに近付かず」？。危険に近付かないということが基本ですね。



1月の感染症の集計

